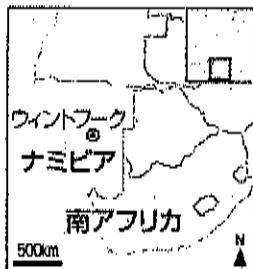


12/1 早稿



政府は三十日、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染者が日本で初めて確認されたと発表した。感染が分かたれたのは二十八日に成田空港に到着したアフリカ南部ナミビアの三十六代の男性外交官。岸田文雄外相は、関係閣僚と会談で対応を協議した。

厚生労働省によると、男性は入国時は無症状だったが、二十九日に発熱した。入国時の検査で陽性と判定され、ウィルスのゲノム（全遺伝情報）を解析した結果、オミクロン株と判明した。各国でアフリカ南部からの渡航を制限する動きがある可能性が指摘されている。各國でアフリカ南部からの渡航を制限する動きがある。

同乗者は家族一人を含む七十人で、一人発熱したものと同一飛行機に乗っていた乗客は家族二人を含む七十人で、一人発熱したものと同一飛行機に乗っていた。

厚生労働省は、オミクロン株感染が確定した人と疑われる人は入院させるよう自治体に求めた。

世界保健機関（WHO）は二十六日、オミクロン株を最も警戒レベルが高い「懸念される変異株（VOC）」に指定した。

WHOは三十日の記者会見で「基本的な感染対策に加えて三密（密閉、密接、密接）を避けねばならぬ対策として扱い、健康状態の報告

オミクロン株 日本初確認 新型コロナ ナミビア30代外交官

オミクロン株の感染が確認された中国・地域

日本、英国、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ポルトガル、チェコ、スウェーデン、スペイン、デンマーク、イスラエル、ポツダム、南アフリカ、香港、オーストラリア、カナダ

オミクロン株 南アフリカが11月に報告した新型コロナウイルスの新たな変異株。新型コロナは2019年に中国・武漢で初めて感染者が確認された後、遺伝情報が部分的に変わった変異株が見つかっており、感染しやすさや症状の重症化が異なる場合があ

る。英國由来のアルファ株や、インドで最初に見つけたデルタ株は日本や世界で大流行の波を起した。オミクロン株は変異した部分が多く、世界保健機関（WHO）は最も警戒度の高い「懸念される変異株（VOC）」に分類する。

オミクロン株は、アルファ株や、インドで最初に見つけたデルタ株は日本や世界で大流行の波を起した。オミクロン株は変異した部分が多く、世界保健機関（WHO）は最も警戒度の高い「懸念される変異株（VOC）」に分類する。

オミクロン株は、アルファ株や、インドで最初に見つけたデルタ株は日本や世界で大流行の波を起した。オミクロン株は変異した部分が多く、世界保健機関（WHO）は最も警戒度の高い「懸念される変異株（VOC）」に分類する。

オミクロン株には、人の細胞に侵入して感染する際の足掛かりとなる突起状の「ス